



2020年度 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 株式会社ソラスト 上場取引所 東
 コード番号 6197 URL https://www.solasto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 藤河 芳一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 CFO 財務・経理本部長 (氏名) 岡田 充弘 TEL 03 (6890) 8904
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年度第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年度第3四半期	78,118	9.4	4,834	21.7	4,732	20.5	2,808	△29.1
2019年度第3四半期	71,427	14.7	3,973	3.4	3,926	1.9	3,961	55.3

(注) 包括利益 2020年度第3四半期 2,812百万円 (△29.0%) 2019年度第3四半期 3,963百万円 (55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年度第3四半期	29.77	29.70
2019年度第3四半期	42.08	41.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年度第3四半期	61,986	17,755	28.6
2019年度	57,703	16,770	29.0

(参考) 自己資本 2020年度第3四半期 17,744百万円 2019年度 16,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年度	—	9.50	—	10.00	19.50
2020年度	—	9.50	—	—	—
2020年度 (予想)	—	—	—	10.00	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年度の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,500	10.2	6,050	10.7	5,930	10.3	3,580	△24.5	37.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日 (2021年2月9日) 公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2 社（社名） 株式会社日本エルダリーケアサービス、株式会社ファイブシーズヘルスケア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年度 3 Q	94,338,900株	2019年度	94,325,700株
② 期末自己株式数	2020年度 3 Q	258株	2019年度	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年度 3 Q	94,330,360株	2019年度 3 Q	94,157,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び本日2021年2月9日開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会（電話会議）における資料については、本日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（当社ウェブサイトURL）

<https://www.solasto.co.jp/ir/jp/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(偶発債務)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月～12月)における当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響があった一方で、従来進めてきた生産性改善・M&A等の取り組みが貢献し、医療関連受託事業及び介護・保育事業がともに堅調に推移しました。また、当年度より医療関連受託事業の各支社で行っていた総務・人事・経理等のサポート業務を、本社への集約やIT活用で効率化しており、この取り組みが全社の費用効率化に貢献しました。

新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は、介護事業のデイサービスを中心としたご利用者のサービス利用控えの継続、第1四半期に行った医療機関・介護・保育の現場でサービス提供に従事する当社グループ社員への慰労金約2.4億円の支給、マスク等の感染対策費用の支出等がありました。一方で、リモートワークの推進により旅費交通費等の一部費用が減少しました。

以上の結果、売上高は前年同期比9.4%増加の78,118百万円、営業利益は、前年同期比21.7%増加の4,834百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度第1四半期の固定資産の譲渡に伴う特別利益の影響が剥落し、前年同期比29.1%減少の2,808百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2019年度 第3四半期連結累計期間 (2019年4月～12月)	2020年度 第3四半期連結累計期間 (2020年4月～12月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2019年4月 ～2020年3月)
売上高	71,427	78,118	+6,691	+9.4%	95,719
営業利益 (同率)	3,973 (5.6%)	4,834 (6.2%)	+861	+21.7%	5,465 (5.7%)
経常利益 (同率)	3,926 (5.5%)	4,732 (6.1%)	+805	+20.5%	5,374 (5.6%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (同率)	3,961 (5.5%)	2,808 (3.6%)	△1,153	△29.1%	4,739 (5.0%)

<事業セグメント別の状況>

[医療関連受託事業]

医療関連受託事業は、サービスクオリティの維持・向上、生産性の改善を目的としたトレーニングやIT活用等の取り組みを継続的に推進しています。これらの取り組みが新規契約の受注及び既存契約先の取引増に寄与しました。また、大型の単発案件の受注もあり、売上高は前年同期比3.8%増の45,124百万円となりました。営業利益は、支社業務の効率化、支社再編、増収、生産性改善等により、前年同期比22.7%増の5,859百万円となりました。

[介護・保育事業]

介護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響として、デイサービスを中心とした一部ご利用者様のサービス利用控え、施設の一時休業、感染対策費用の支出、第1四半期に行った慰労金の支給等がありました。一方で、新規M&Aとして2020年3月に株式会社恵の会及び有限会社恵の会、2020年10月に株式会社日本エルダリーケアサービス及び株式会社ファイブシーズヘルスケアをそれぞれ子会社化しています。M&Aに伴うデューデリジェンス費用や仲介手数料等の一時費用が発生したものの、これらの新規M&Aによる業績への貢献や生産性の改善等により前年同期比で増収増益となりました。なお、デイサービスの利用状況は、2020年4月発令の緊急事態宣言の解除後に大きく改善したものの新型コロナウイルス感染拡大以前の水準を下回り推移しました。

保育事業は、2020年4月に認可保育所1施設を新規開設、1施設を事業譲受、認証保育所2施設を認可保育所に移行したこと等により園児数が増加し前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、介護・保育事業の売上高は前年同期比18.0%増の32,604百万円、営業利益は前年同期比4.5%増の1,769百万円となりました。

介護事業所数及び保育施設数

	2019年12月末	2020年3月末	2020年12月末
介護事業所数	450	476	631
保育施設数	16	16	18

[その他(教育等)、全社費用]

教育事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止していた資格試験の会場受験を在宅受験に切り替えて実施したことによる受験者数の増加、2020年4月に行われた診療報酬改定に伴う書籍販売数の増加等により、前年同期比で増収増益となりました。

全社費用は、医療関連受託事業の支社業務の効率化に伴い一部業務を本社に移管したことによる費用増のほか、IT関連投資費用等により増加しました。

以上の結果、その他(教育等)の売上高は前年同期比15.3%増の389百万円となりました。営業利益及び全社費用の合計は2,794百万円の営業損失となりました。

[売上高]

(単位:百万円)

	2019年度 第3四半期連結累計期間 (2019年4月～12月)	2020年度 第3四半期連結累計期間 (2020年4月～12月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2019年4月 ～2020年3月)
医療関連受託事業	43,467	45,124	+1,656	+3.8%	58,263
介護・保育事業	27,621	32,604	+4,983	+18.0%	37,011
介護事業	26,202	30,826	+4,624	+17.6%	35,085
保育事業	1,419	1,778	+358	+25.3%	1,925
その他(教育等)	337	389	+51	+15.3%	445
合計	71,427	78,118	+6,691	+9.4%	95,719

[営業利益]

(単位：百万円、()内は営業利益率)

	2019年度 第3四半期連結累計期間 (2019年4月～12月)	2020年度 第3四半期連結累計期間 (2020年4月～12月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2019年4月 ～2020年3月)
医療関連受託事業	4,774 (11.0%)	5,859 (13.0%)	+1,085	+22.7%	6,581 (11.3%)
介護・保育事業	1,693 (6.1%)	1,769 (5.4%)	+76	+4.5%	2,246 (6.1%)
介護事業	1,519 (5.8%)	1,565 (5.1%)	+46	+3.0%	2,030 (5.8%)
保育事業	174 (12.3%)	204 (11.5%)	+30	+17.5%	216 (11.2%)
その他(教育等)、全社費用	△2,493 (-)	△2,794 (-)	△301	-	△3,362 (-)
合計	3,973 (5.6%)	4,834 (6.2%)	+861	+21.7%	5,465 (5.7%)

(注) 上記<事業セグメント別の状況>に記載している“売上高”は、P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の“外部顧客への売上高”を、“その他(教育等)、全社費用”は、“その他”及び“調整額”を合算した数値を記載しています。なお、“調整額”は、主に報告セグメントに帰属しない費用等であり、各報告セグメントに配分していないものです。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年度通期の業績予想につきましては、最新の業績動向を踏まえ、2020年5月20日に公表した業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(2021年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,232	10,348
受取手形及び売掛金	11,995	14,162
貯蔵品	56	56
その他	1,305	1,226
貸倒引当金	△25	△29
流動資産合計	25,565	25,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,709	7,420
土地	1,142	1,512
その他(純額)	2,570	3,241
有形固定資産合計	10,421	12,174
無形固定資産		
のれん	13,736	15,317
その他	711	845
無形固定資産合計	14,448	16,163
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,289	7,908
貸倒引当金	△21	△23
投資その他の資産合計	7,267	7,885
固定資産合計	32,138	36,222
資産合計	57,703	61,986
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,500	3,000
1年内返済予定の長期借入金	3,224	3,543
未払金	6,479	8,427
未払法人税等	1,713	899
賞与引当金	1,711	1,094
役員賞与引当金	20	15
その他	3,277	5,880
流動負債合計	20,926	22,861
固定負債		
長期借入金	12,956	13,375
退職給付に係る負債	1,397	1,520
資産除去債務	864	900
その他	4,787	5,573
固定負債合計	20,006	21,370
負債合計	40,933	44,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	583	588
資本剰余金	5,482	5,487
利益剰余金	10,666	11,636
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,733	17,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△0
退職給付に係る調整累計額	31	33
その他の包括利益累計額合計	28	32
新株予約権	8	10
純資産合計	16,770	17,755
負債純資産合計	57,703	61,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	71,427	78,118
売上原価	58,727	63,908
売上総利益	12,700	14,210
販売費及び一般管理費	8,726	9,375
営業利益	3,973	4,834
営業外収益		
受取保険金	36	90
補助金収入	48	64
その他	31	36
営業外収益合計	116	190
営業外費用		
支払利息	118	153
損害賠償金	11	63
従業員休業補償費	—	65
その他	33	11
営業外費用合計	163	293
経常利益	3,926	4,732
特別利益		
固定資産売却益	2,202	0
補助金収入	275	81
その他	14	—
特別利益合計	2,491	82
特別損失		
固定資産除却損	15	67
固定資産圧縮損	275	81
特別損失合計	291	149
税金等調整前四半期純利益	6,126	4,665
法人税等	2,165	1,857
四半期純利益	3,961	2,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,961	2,808

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,961	2,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	2
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	1	4
四半期包括利益	3,963	2,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,963	2,812
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,126	4,665
減価償却費	649	766
のれん償却額	795	944
賞与引当金の増減額(△は減少)	△822	△668
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56	60
支払利息	118	153
補助金収入	△275	△81
固定資産圧縮損	275	81
固定資産売却益	△2,202	△0
固定資産除却損	15	67
売上債権の増減額(△は増加)	△918	△947
たな卸資産の増減額(△は増加)	5	1
前払費用の増減額(△は増加)	117	188
未払金の増減額(△は減少)	672	1,425
未払消費税等の増減額(△は減少)	240	378
預り金の増減額(△は減少)	437	1,977
その他	△621	△171
小計	4,657	8,837
利息の支払額	△137	△151
補助金の受取額	294	168
法人税等の支払額	△1,501	△2,827
その他	50	104
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,364	6,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△679	△341
有形固定資産の売却による収入	2,466	1
無形固定資産の取得による支出	△337	△302
投資有価証券の取得による支出	△326	△105
敷金及び保証金の差入による支出	△138	△74
敷金及び保証金の回収による収入	13	25
事業譲受による支出	△793	△1,381
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△712	△1,801
その他	9	257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497	△3,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,400	17,500
短期借入金の返済による支出	△19,406	△19,014
長期借入れによる収入	3,400	3,000
長期借入金の返済による支出	△5,929	△3,653
株式の発行による収入	7	7
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,928	△1,837
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△74	△97
その他	△324	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,856	△4,172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,989	△1,763
現金及び現金同等物の期首残高	9,211	11,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,221	9,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社日本エルダリーケアサービス及び株式会社ファイブシーズヘルスケアの全株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(偶発債務)

公正取引委員会による調査について

当社は、2019年5月14日、中部地区（医療事業本部）における医療事務受託業務及び診療報酬明細書点検業務に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立入検査を受けました。

当社は、公正取引委員会による調査に対して全面的に協力してまいります。

なお、調査は継続中であり現時点では財政状態及び経営成績に及ぼす影響は不明です。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報では、介護・保育事業で運営するデイサービスを中心に、ご利用者の利用控え等が2020年4月の緊急事態宣言発令以降の水準で2020年7月まで継続することを主な前提条件としていましたが、実績としては、2020年5月末の緊急事態宣言解除後、介護サービスの利用状況は一定程度回復して第3四半期連結会計期間まで推移しております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は依然として不確実性が高いため、今後の感染拡大の状況や経済に与える影響により、第4四半期連結会計期間以降の財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,467	27,621	71,089	337	71,427	—	71,427
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,467	27,621	71,089	337	71,427	—	71,427
セグメント利益又は損失 (△)	4,774	1,693	6,467	6	6,473	△2,499	3,973

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない教育、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,499百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

なごやかケアリンク株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結会計期間末の「介護・保育事業」のセグメント資産が、前連結会計年度の末日に比べ、4,439百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「介護・保育事業」セグメントにおいて、なごやかケアリンク株式会社が、新たに連結子会社となっております。この株式取得によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において3,237百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,124	32,604	77,729	389	78,118	—	78,118
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	45,124	32,604	77,729	389	78,118	—	78,118
セグメント利益又は損失 (△)	5,859	1,769	7,629	27	7,657	△2,822	4,834

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない教育、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,822百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

株式会社日本エルダリーケアサービス及び株式会社ファイブシーズヘルスケアの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結会計期間末の「介護・保育事業」のセグメント資産が、前連結会計年度の末日に比べ、5,354百万円増加しております。

なお、当該セグメント資産は、当第3四半期連結会計期間末において、株式会社ファイブシーズヘルスケアにかかる取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「介護・保育事業」セグメントにおいて、株式会社日本エルダリーケアサービス及び株式会社ファイブシーズヘルスケアが、新たに連結子会社となっております。この株式取得によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,910百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において、株式会社ファイブシーズヘルスケアにかかる取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。